



取扱説明書



盗難発生警報装置

I460H

I460H+

FACTORY KEYLESS UPGRADE SECURITY

純正キーレスアップグレードシステム

注意！

本説明書内に記載のある「取付」を行うには、車両電装及び盗難発生警報装置の取付に関する専門的な知識と経験が必要です。

本書内には車両電装並びに盗難発生警報装置の取付に必要な専門用語が使われており、取付説明に従った本装置の取付を行うには車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

新保安基準適合



目次

はじめに.....	1
安全に正しくお使いいただくための表示について.....	1
危険.....	2
警告.....	2
注意.....	3
梱包物をご確認ください.....	4
その他の注意.....	4
取扱に関する説明.....	5
システムセット(警戒).....	5
システム解除.....	6
警戒中のシステム動作.....	7
トランクオープナー/パワーリアゲート対応.....	8
各種機能の設定.....	9
機能選択項目説明.....	9
2. リレーアタック対策モード2 -特許出願中-.....	10
3. インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応).....	10
4. リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト).....	10
5. エラーチャープ消音.....	10
6. リレーアタック対策モード1.....	10
7. ライトフラッシュ動作切り替え(点灯/点滅).....	11
8. オートアーム.....	11
9. 警報出力.....	11
10. オートリアーム.....	11
17. イクステリアイルミネーション(解除点灯機能).....	11
その他の機能.....	11
その他の機能(続き).....	12


緊急リセット(解除方法 3)コード変更方法	14
緊急リセットコード変更手順	14
工場出荷状態に戻す(初期化)	15
Q & A	15
純正キーレスで操作してもシステムがセット／解除されない事がある。.....	15
出先で純正キーレスが使いなくなってしまった!	15
システムはセットされているのに何も反応しない!	15
純正キーレスでトランクをあけたのにサイレンが鳴り始めた。.....	15
ホーンが鳴動中に純正キーレスで操作しても解除できない。.....	15
取付に関するトラブルシュート	16
テスト時シングルステージが反応しない!	16
衝撃センサーで警告が連続してしまう!	16
仕様一覧	16


はじめに


この度はVISION/SCIBORG製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱方法によりご使用いただきますようお願いいたします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

 **危険** 人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **警告** 人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

 **注意** 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。

危 険

● 本装置取付時のバッテリー電源

本装置の取付を行う場合には必ずバッテリー電源をはずした状態で作業を行ってください。電源がはずされていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

警 告

● 本装置の取付

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 12V車専用

本装置は12V電源専用機器です。24V車への取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。



注 意

● 本装置の固定

本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

車両のバッテリーターミナルをはずす際には必ず本製品の主電源（メインプラ）をはずした状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているオプションリモコンのIDが消えることがあります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両は、バッテリーがはずされたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

● バッテリーあがりについて

バッテリーの寿命は正常な状態で2～3年ぐらいいであり、使わなくても性能は劣化します。また、最近のバッテリーは、車内電装品の充実等により突然性能が落ちます。前回のバッテリー交換から2年以上経過している場合はもちろん、カーセキュリティ装着時にはバッテリーの点検や早めの交換をお勧めします。特に、一回の走行距離が短い、オーディオやカーナビなど電力消費の多い機器を使用している、車の利用回数が少ない(車は乗らなくても多くの電気機器により待機電流として消費します)などの場合は、バッテリー充電能力よりも消費の方が上回るため、十分な充電ができません。

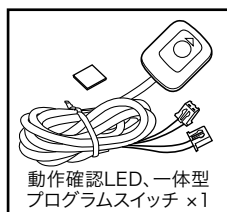
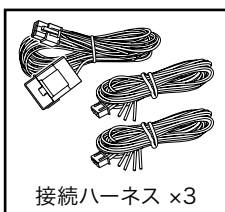
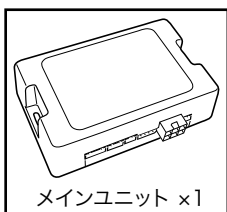
【バッテリー寿命を短くする要因】

- ★ 渋滞・夜間・雨天の利用が多い。
- ★ エアコンを常に利用している。
- ★ オーディオやカーナビなど電力消費の多い機器を利用している。
- ★ 一回の走行距離が短い。
- ★ 車の利用回数が少ない。(車は利用しなくても多くの電子機器により電力が消費されます。)
- ★ 1週間以上乗らない。

⚠ その他の注意

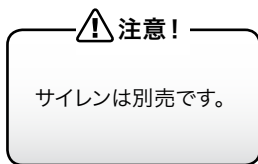
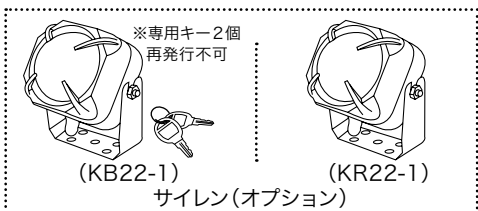
- 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。
- 本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。
- 保安基準第43条の5第2項により、必ずいずれのドアが開いても本警報を発するように取付を行ってください。3ドアまたは5ドア車のハッチバックまたはリアゲートはドアとして判断されます。必ずこれらのドアが開いた場合にも本警報を発するように取付を行ってください。

梱包物をご確認ください



その他の梱包物

本説明書	X	1
ステッカー	X	1シート(4枚)
適合証明書	X	1



取扱に関する説明

システムセット(警戒)

通常のセット

車両のすべてのドアを閉め、車両純正のリモコンまたはキーフリーシステム(以下純正キーレス)を使ってドアをロックします。ロックに連動しチャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションをオンにしても発報しません。(センサーはドアロック操作から10秒後に検知を開始します。)



動作確認音(チャープ音)の有無の設定方法

下記手順によりシステムセット/解除時の動作確認音のオン/オフを選択できます。

手順	作業内容
1	IGがオフの状態ですプログラムスイッチを1回押します。
2	20秒以内に純正キーレスによりドアをロックします。

動作確認音の設定が変更され、システムがセットされます。



ヒント

設定は上記手順が再度行われるまで変更されません。動作確認音をオフした場合には上記手順を行わない限りオフされたままとなります。

センサバイパスモードでのセット

下記手順により状況に合わせてシステムセット時に外部センサー(衝撃センサー等)を一時的にスリープさせ、センサーが反応しないようにできます。

手順	作業内容
1	IGがオフの状態ですプログラムスイッチを2回押します。
2	20秒以内に純正キーレスによりドアをロックします。

動作確認音がON設定になっている場合には、通常セット時1回の確認音が2回発せられバイパスモードでセットされた事を知らせます。



ヒント

バイパスモードは上記手順を行った1回のセット中のみ有効です。

システム解除

警戒中のシステムの動作状況によりシステム解除の方法が異なります。

解除方法 1 【通常の解除】

純正キーレスを使ってドアをアンロックします。チャープ音が3回発せられ(動作確認音がオフになっている場合には無音)LEDが消灯します。



解除方法 2 【ドア開により警報作動した場合の解除】

手順	作業内容
1	純正キーレスでアンロックします。(セキュリティはセットのまま)
2	車両に乗り込みドアを閉めます。(この際サイレンが鳴り始めます。)
3	イグニッションをオンにして、すぐにOFFします。
4	純正キーレスでアンロックします。
手順4終了後システムが解除します。(LEDが点滅。11頁トリガメモリ参照)	

解除方法 3 【車両純正キーレスが使用できない場合の緊急解除】

※ この解除方法は13頁に記載の緊急解除方法を参照してください。

警戒中動作別解除方法

● システム警戒中に衝撃センサーにより警報作動した場合

解除方法**1**、**2**、**3**いずれの方法でもシステムを解除することができます。

システム解除時にチャープ音が通常の3回ではなく4回発せられる場合には、警戒中に衝撃センサーまたはオプションセンサーが異常発報した事を知らせています。

● 純正リモコン操作によるアンロック時にシステムが解除されない場合

解除方法**2**または**3**のいずれかの方法でシステムを解除する必要があります。

純正リモコンを使って車両ドアをアンロックした際にシステムが解除されない場合にはドア、トランク、イグニッションのいずれかが原因で異常発報した事を知らせています。このような場合にはシステム解除後LEDの点滅回数を確認する事で反応したセクター(センサー)を知る事ができます(11頁トリガメモリ機能参照)。

● 純正リモコンが使用不可能な場合

解除方法**3**でシステムを解除する必要があります。

セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず本説明書14頁を参照して緊急コードの変更を行ってください。

警戒中のシステム動作

警戒中のエンジン始動

機能選択(9頁機能選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

プロテクトモード:

エンジンがかけられると30秒間またはシステムが解除されるまで異常発報します。

※システムを解除するには解除方法**2**または**3**が必要です。



エンジンスターター対応モード:

エンジンがかけられるとセンサーはエンジンが停止するまで無視されます。ただし、このモードが選択されている場合であってもドアは引き続き監視されますので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。



インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

※異常発報時に解除するには解除方法**2**または**3**が必要です。



ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、30秒間のサイレン鳴動やライトフラッシュを行う事です。

※警告、警報時のライトフラッシュ機能は車両により機能しない場合があります。

ドア開検知(ドアオープンプロテクト)

ドアが開けられると30秒間または解除されるまで異常発報し、警戒状態が継続します。

※システムを解除するには解除方法**2**または**3**が必要です。

GWA(動作中出力)

システムセット中にアース信号が連続して出力されます。(ルミネーターやスタータキルイモビライザー等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。)

動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで継続します。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

レジャーモード機能

セット状態を記憶しているため万が一車両バッテリーを外されても、電源が再投入されると異常発報後にセット状態に復帰します。

この時トリガーメモリはありません。(※11頁「その他の機能」の「(トリガー)メモリ機能」を参照ください。

センサー検知 (H+またはオプション使用時のみ)

シングルステージ:

衝撃センサーが弱い衝撃を検知するとチャープ音が5回鳴ります。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ:

衝撃センサーが強い衝撃を検知すると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します

※センサーバイパスモードでは反応しません。



ドライブレコーダーの起動

前述のシングルステージで45秒間、デュアルステージ またはドア開けなどによる本警報では120秒間のドライブレコーダー起動用信号を出力します。

⚠️ 注意!

ドライブレコーダーの起動には別売オプションの**KDR-1**が必要です。ドライブレコーダー起動出力の動作回数は本体の警告、警報動作に依存します。

セクターバイパス機能(12頁参照):

警告時: 最大10回×45秒 警報時: 各セクター最大10回×120秒

※センサーバイパスモードでは動作しません。

トランクオープナー/パワーリアゲート対応

システムセット中に純正リモコンからトランクオープナー/パワーリアゲートを操作した場合、本体に接続しているセンサーはすべてバイパスされます。また、ドア開信号線も一旦トランクが閉じられ5秒経過するまではバイパスされます。



⚠️ 注意!

車両により対応できない場合があります。その際はシステム解除後にトランクオープナー/パワーリアゲートの操作を行ってください。

※配線がされていない場合は対応できません

各種機能の設定

本製品はお客様のご使用される環境に、より適応させるためのモードを搭載しています。機能選択の方法は下記手順にしたがってください。

手順	作業内容
1	車両純正キーレスを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2	上記操作から20秒以内にIGをオンします。
3	プログラムスイッチを選択したい項目の回数(下記表参照)押します。
4	IGをオフします。
次頁選択項目の回数LEDが点滅し、設定が変更された事を表示し自動終了します。	

※各機能の設定は上記手順1.~4.を繰り返すたびに入れ替わります。

※時間制限があるためスイッチの操作はすばやく行ってください。

※一部のハイブリッド車では、エンジン始動/停止後に操作を行う必要があります。

機能選択表:

選択項目	選択機能	選択内容	工場出荷時
2	リレーアタック対策モード2 (リモコンアンロックx2回)	ON/OFF	OFF
3	インテリジェントIGプロテクト(エンスタ対応)	プロテクト/エンスタ	プロテクト
4	リモートスタート中確認動作	ON/OFF	OFF
5	エラーチャープ消音	発音/消音	発音
6	リレーアタック対策モード1 (アンロック信号を無視)	ON/OFF	OFF
7	ライトフラッシュ動作切り替え	点灯/点滅	点灯
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
9	警報出力	断続/連続	断続
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF

機能選択項目説明

2. リレーアタック対策モード2 -特許出願中-

・車両純正のリモコンによるアンロック操作を2回連続で行った場合のみ、本システムをオフ(解除)できるようにするプログラムです。
このプログラムによりスマートキーの機能を悪用したリレーアタックによる本システムの解除が不可能になります。

⚠ 注意!

- ・ このプログラムは純正リモコンのボタンが1つの場合は利用できません。
- ・ この項目が ON の場合、機能選択表の項目6は無視されます。

3. インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応)

・「プロテクト」を選択した場合、警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
・「エンスタ」を選択した場合、エンジン始動中はドア検知以外では異常発報しないためエンジンスターターとの併用が可能です。(ターボタイマーは併用できません)

※インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドアが継続して3秒以上空いている場合に異常発報し、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

4. リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)

※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。
「ON」を選択した場合は、警戒状態でエンジン始動中は機能選択項目「7.ライトフラッシュ動作切り替え」で選択されたパターンで点灯または点滅し続けます。

5. エラーチャープ消音

セット時の半ドア等の警告音を消す事ができます。
予約ロック機能に対応したプログラムです。

6. リレーアタック対策モード1

・車両純正のリモコンによるアンロック信号を無視するプログラムです。
車両純正リモコンまたはスマートキー操作による本システムの解除はできません。

本システムの解除には13頁に記載の「解除方法3」(緊急解除)を行う必要があります。

7. ライトフラッシュ動作切り替え(点灯/点滅)

「点灯」を選択した場合、選択項目「4.リモートスタート中動作確認」および「17.イクステリアイルミネーション」の機能を使用した場合のライトフラッシュが点灯になります。「点滅」を選択した場合には前述のライトフラッシュが点滅になります。

8. オートアーム

「ON」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にシステムをセットします。

※ 別売のドアロックオプションをご使用されている場合にはシステムがオートアームによりセットされると同時に車両ドアがロックされます。鍵の閉じ込めをしないように十分注意してください。

9. 警報出力

- ・別売オプションのサイレンを使用する場合は「連続」に変更してください。
- ・車両ホーンへ接続する場合は工場出荷状態の「断続」を選択します。

10. オートリアーム

「ON」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

※ 車両のリロック機能動作時にハザードが点滅する車両ではその時点でシステムがセットされます。

17. イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)

「ON」を選択した場合、解除後スモールランプが機能選択項目「7.ライトフラッシュ動作切り替え」で選択されたパターンで点灯または点滅します。ライトは30秒経過するかドアが開くか、IGがONになるまで光ります。

その他の機能

(トリガー)メモリ機能

通常警戒中は1秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが、異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はシステムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで続きます。メモリ機能が働いた場合は、システムを解除した後のLEDの点滅回数が、どのセクターが反応したかを知らせてくれます。メモリは3つを記憶しており、LED点滅回数の少ない順に表示されます。

LED点滅回数	異常検知セクター
0	メイン電源断
2	ドア(-入力)
3	ドア(+入力)
6	イグニッション
7	外部センサー

その他の機能(続き)

バレーモード[®]機能

車両をメンテナンスに出す等セキュリティを動作させたくない場合は下記手順によりシステムを動作しないように設定できます。

手順	作業内容
1	IGをオフ、システムを解除状態にします。
2	プログラムボタンを押し、そのまま押し続けます。
動作確認LEDが点灯しはじめます。	
3	そのままプログラムボタンを5秒以上押し続けます。
LEDが消灯しシステムがバレーモードに設定された事を知らせます。	

※ 上記手順をもう一度行くとバレーモードを解除します。

! 注意!

バレーモードの取り扱いには次の点に十分注意してください。

- ・ 設定中であることを確認するための特別な表示を行いません。
- ・ 設定中は純正キーレス操作でシステムのセット/解除はできません。
- ・ バレーモード解除後最初のシステムセットはチャープ音2回が鳴りセンサーバイパスモードになりますのでご注意ください。

本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクター(ドアを除く)により10回異常発報した場合、または予備警告が10回発せられた場合にはそのセクターは周囲への迷惑を防止するためそれ以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。

※ セクターとはドア、IG、センサー等の監視個所のことです。

※ ドア開検知は4回の異常発報後バイパスされますが、一度ドアを閉めるとリセットされます。

エラーチャープ機能

システムセットした時点ですでにいずれかのセクターが異常検知状態にある場合にはチャープ音を2回鳴らします。

ライトフラッシュ機能

発報中→30秒間点滅、予備警告時→3回点滅。

※ 車両により点滅回数が違う場合または利用できない場合があります。

緊急解除（解除方法 **3** ） [強制的に解除する方法]

本製品は電池切れなどにより純正キーレスが使用不可能な場合や、リレーアタック対策モード1を使用している場合に、プログラムスイッチを使用してシステムをリセット(解除)することができる機能(解除方法**3**)を搭載しています。

この方法によるシステムの解除は下記手順に従ってください。

緊急解除手順

手順	作業内容
1	ドアを開け車両に乗り込みます。 (この際異常発報し始めます。 ※リレーアタック対策モード1をONに設定している場合はドアを開けてから20秒は異常発報しません。)
2	ドアを開けてから20秒以内にIGをオンにします。
3	プログラムスイッチを任意に登録した緊急コードの回数押します。
4	IGをオフします。
手順4終了後システムが解除します。 (LEDが点滅。11頁トリガーマモリ参照)	

工場出荷時の緊急コードは6です。

- ※ 入力した緊急コードの回数が正しくない場合、システムは再度サイレンを鳴らしますので、緊急解除の手順を最初からやり直してください。
- ※ 純正キーレスを破損したり、紛失した場合には緊急解除できません。

注意!

セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急コードの変更を次頁手順にしたがって行ってください。

緊急コードの変更方法

左12頁で使用する緊急コードの変更手順です。
セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急コードの変更を行ってください。

変更方法は下記手順にしたがって行ってください。

※設定可能な緊急コードは1～30です。

※工場出荷時の緊急コードは“6”です。

緊急コード変更手順

手順	作業内容
1	イグニッションをオンします。
2	プログラムスイッチを6秒以上押し続けます。
チャープ音が3回鳴ります。	
3	スイッチを離します。
4	イグニッションをオフします。
動作確認LEDが5秒間点灯します。	
5	上記LED点灯中にIGをオンします。
動作確認LEDが消灯後ゆっくりと点滅します。	
6	LEDが設定したい数の回数分点滅したところでイグニッションをオフします。
LEDが設定した緊急コードの回数だけ点滅し設定完了	

⚠ 注意!

※登録した緊急コードは絶対に忘れないようにしてください。

※オプションのリモコンが登録された状態で緊急コードの変更を行うと、登録されているリモコンのIDは一旦消去されます。

リモコンは緊急コードを変更した後に登録してください。

工場出荷状態に戻す(初期化)

次の作業を行う事でシステムメモリ(機能設定の内容および緊急コード)をすべて工場出荷時の初期状態に戻す事ができます。

手順	作業内容
1	本体の6極カプラを外し、プログラムスイッチを押したまま再度接続します。 LEDが点灯しサイレンが鳴動します。
2	プログラムスイッチを離します。 サイレンが止まる(LEDは点灯したまま)
3	イグニッションをONします。 チャープ音が3回鳴り、LEDが消えます。
4	イグニッションをOFFします。 LEDが約5秒点灯した後、1~2秒消灯します。 LEDが緊急解除コード回数(初期値6)点滅、その後消灯で作業終了

Q & A

Q : 出先で純正キーレスが使えなくなりました!

A : 緊急コードを使用してセキュリティを解除することができます。解除方法は本説明書13頁の「緊急解除(解除方法3)」を参照してください。

Q : システムはセットされているのに何も反応しない!

A : パレーモードまたはセンサーバイパスモードでセットしていませんか? システムのセット方法によって外部センサーが反応しないモードが用意されています。(本説明書5ページ、12頁をご参照ください)

Q : 純正キーレスでトランクをあけたのにサイレンが鳴り始めた。

A : 純正キーレスについているトランクリリース機能によりセキュリティ警戒中にトランクを開ける場合には、トランクリリース信号が入力されてから2秒以内にトランクが開けられる必要があります。もしこの時間を過ぎてトランクが開くとサイレンが鳴りだします。

※ トランクオープナーに対応するには別途配線が必要です。

Q : ホーンが鳴動中に純正キーレスで操作しても解除できない。

A : 衝撃センサー以外の原因(ドア開け、トランク開け、イグニッションON)による異常発報が行われた場合には解除方法 **2** または **3** で解除を行う必要があります。詳しくは6頁および13頁を参照ください。

取付に関するトラブルシュート

Q：テスト時シングルステージが反応しない！

A：まずセンサーのシングルステージ確認LED(緑)を確認してください。

☞ 軽い衝撃を与えた際にLEDが光らない場合。

センサー感度を調整してください。

☞ 軽い衝撃を与えた際にLEDが光る場合。

警戒開始は動作確認LEDの点滅開始から10秒後です。



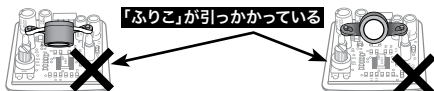
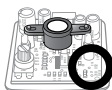
Q：衝撃センサーで警告が連続してしまう！

A1： 衝撃センサーの感度設定が高すぎると、警告を発する際のハザードランプリレーなどの動作振動やサイレン鳴動時の振動をとらえ警告が続いてしまう事があります。このような場合には衝撃センサーの設置場所を変更するか感度を少し低くしてください。

A2： センサーがまったく反応しない場合、センサーが落とされる等してセンサー内部の振動検知用「ふりこ」が下記写真のように異常な状態で引っかかってしまっていることがまれにあります。このような場合には下記手順にしたがって「ふりこ」を正常位置にもどしてください。

1. センサーからカプラを抜く。
2. センサーのふたをはずす。(ふたはカプラ部分を押さえるようにして固定用タブを持ち上げると簡単にはずす事ができます。
3. 「ふりこ」を「正常位置」図を参照して正常位置にもどす。
4. センサーのふたを閉める。(LEDを破損しないように十分注意してください)
5. センサーを元の場所に設置する。

※センサーの警戒開始はLED点滅開始から10秒後です。



仕様一覧

メインユニット仕様：

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	待機時約3.5mA(解除時約1.5mA)
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-40℃ ~ 85℃
保 護 構 造	IP40

衝撃センサー仕様：

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	待機時5mA
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-40℃ ~ 85℃
保 護 構 造	IP40

《保証・無料修理規定》

- 1:本製品の保証期間はご購入日より1年間です。
- 2: 取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店経由にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
- 3: 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。
- 4: ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
- 5: 本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取はずし、取付費用は、お客様のご負担となります。
- 6:保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - 製品内への水・油分等の浸入による故障及び損傷
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - ご購入後後の落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
 - 普通乗用車、軽自動車以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 適合車種以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
 - 本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合
- 7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

⚠ 注意!

- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
- ※ 各記入欄に必要な事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にてお申し付けください。
- ※ 製品同梱の適合証明書は車検時の審査通過を保証するものではありません。
- ※ 本製品の動作の有無に関わらず盗難等の被害については当社では一切の責任を負いかねます。